



## 「お宅の省エネ、チェックします」 相談員がやってきた!

以前この欄でご紹介した気候保護エージェントを通じて、省エネ相談を受けました。自宅に来てもらい、家電製品をチェックし、生活様式を考慮した上でアドバイスしてもらうというもの。もともと160ユーロの相談ですが、140ユーロの補助があるため、自己負担は20ユーロ

になります。さらに今は期間限定でまったく無償と聞き、さっそく申し込みました。

相談員は、まず家の広さや暖房の種類(ガスか電気かなど)、家族構成など基本情報を入力。電力消費を減らすコツは個々の家電製品の消費量を知ることだと、冷蔵庫やCDラジカセ、電気スタンドなど測りました。

新しい家電製品を買う時の相談に特に力を入れていると言い、それは省エネの製品を買えば、その後は労せずして高い省エネ効果が見込めるため。ドイツには冷蔵庫2400種類、洗濯機700種類、食器洗浄機1100種類、乾燥機270種類が市場に出回っており(2013年)、どれも省エネ仕様なのかをまとめた冊子を同エージェントで配っています。

私のうちはほぼ省エネランプかLEDを使っており、テレビもあまり見ないし、特別な機器もありません。しかし、問題は冷蔵庫。知り合



テレビの電力消費を測定する省エネ相談員

いから譲り受けた古い大型で、最新の省エネ製品の3倍の電力を消費していることが判明。買い換えれば年間約73ユーロ(1万円)の節約になりますが、相談員は「まだ使えるものをわざわざ買い換える必要はない」とのこと。冷やし過ぎない、冷凍庫の氷をこまめに取る、などの省エネ行動も効果があるといいます。

ときどき使う間接照明は最大230Wで、暗めにつけても75Wでした。天井の灯りはLEDの17Wがふたつなので、こちらを活用した方がよさそうです。またスタンドパイではなく電源を切っているのに、プリンターやテレビ、ラップトップが電力消費していると知り、びっくり。テレビとビデオ機器で、年間800円のロスです。

約2時間の相談の最後に、足で踏めるスイッチ付きコンセントをもらいました。プリンターやテレビをこまめに消すのが楽になりそう。一人当たり年間1000kWhの消費が適切で、親子3人なら2500kWhでOKとのこと。なんとかクリアしており、ほっとしました。後日、相談内容をまとめたレポートが届き、大いに参考になりました。ちなみにハノーファーでは過去5年間、3500世帯が省エネ相談を受けました。時間があ

り、孫のためによりよい世界を残したいという年配者がほとんどで、残念ながら若い人の関心は薄いそうです。

ごみかんドイツ特派員 田口 理穂

### ドイツで子育て



12月半ばから1ヶ月ほど、日本から母が来ていました。ドイツの建物は室内全体を暖める造りなので、手足は冷えます。そこで「湯たんぽはないか」と母が言い出したのが始まり。明が赤ちゃんのときに買ったきりになっていたのを、戸棚から引っ張り出して使ってみると、なんとも気持ちがいい。柔らかいプラスチックの素材で、布に包まれているため肌触りもよく、極楽です。さらに買い足し、ひとり一個使っています。

明は子ども用の小さめの湯たんぽに「ちびゆた」と名づけ、毎晩話しかけています。母が日本にひとつ持って帰ったので「ちびゆたちゃんのおばあちゃん日本にいるんだね」をはじめ、「ちびゆたちゃんのお友達は誰?」「ちびゆたちゃん、僕をあっためてくれてありがとう」などなど。ちびゆたはぬいぐるみの仲間入りをし、ワニやウサギと一緒に今日も明の布団で眠っています。